

めいわ
豊田市立明和小学校

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓 ～さとく、なかよく、たくましく～

— ふるさとをみつめ、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成 —

- ・「ふるさとをみつめ」—主体的に学び、地域に貢献できる子ども (知)
- ・「心豊かに」—思いやる心、感謝する心をもち、調和を尊ぶ子ども (徳)
- ・「たくましく生きる」—「強き体に正しき心」をもち、最後までやりぬく子ども (体)

職員の合言葉：すべては子どものために

(2) 経営方針：地域ぐるみの学校づくり — 新たなる一步 —

全職員が「チーム明和小」の一員として、使命感と責任感をもって教育に携わり、全校体制で目標実現のために努力する。

- 一人一人の学びを保障し、問題を解決していく力を育成する。
- 子どもたちが互いに認め合い、励まし合える関係を支援し、よりよい人間関係を構築する。
- 学校が家庭や地域と連携し、「ふるさと明和」を知る中で、地域に愛着をもち、地域に貢献できる子どもを育成する。
- 体力向上のための活動を通して、その中で強い精神力を育成する。
- 子どもが生活面、学習面にわたってよりよく成長できるよう、教職員の力量向上を図る。

(3) 本年度の重点努力目標

学校スローガン「学びいっぱい」「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」

- 個に応じた学び、問題解決力の育成「学びいっぱい」
 - ・複式学級の利点を生かし、子どもが主体的に取り組むための課題設定、ＩＣＴ機器の活用及び協働的な学びの実践（他校とのオンライン授業を含む）を通して、分かる授業、楽しい授業を展開し、問題解決力を育成する。
 - ・朝の帯学習の時間に、各学級の実態に合わせて、基礎基本の習得（低：学級裁量・国語、中・高：国語、特：自立・国語）を図るとともに、読書の時間を確保し、国語力を育成する。
- 認め合い・励まし合う人間関係づくり「笑顔いっぱい」
 - ・縦割り班活動やあいさつ運動、道徳科の授業等を通して、共感的な仲間づくりを図るとともに、個人の善行や努力を奨励し、互いに認め合い、高め合える関係づくりを構築する。
 - ・教育相談や明和っ子を語る会等を通して、いじめ・不登校の予防等、問題の早期発見・解決に努める。
- 家庭・地域との連携「笑顔いっぱい」
 - ・健康で安全な生活習慣を意識し、地域行事（盆踊り・初釜の会等）への積極的な参加を促す。地域の人とのふれあいを通してふるさと明和を愛する気持ちを育成する。
 - ・学校運営協議会及び地域学校共働本部を活用しながら、地域素材（ひと・もの・こと）を活かした授業を展開し、地域交流会（地域の方の授業参観と交流）を実施する。
 - ・学級通信・学校だより・ＨＰを充実させ、「地域に開かれた学校」づくりを進める。
- 心身ともに健康で、最後までやりぬく気力と体力づくり「元気いっぱい」
 - ・基本的生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の意識化・実践化を図る。
 - ・運動会やマラソン大会等の体育的行事への取組を充実させるとともに外遊びを奨励する。
 - ・感染症対策や熱中症対策等をはじめ、日常の保健指導と自己の健康管理を徹底する。
- 互いに高め合う教職員集団、多忙化解消
 - ・計画的なＯＪＴを推進し、ミドルリーダーとのペアリングによる校務の効率化を図る。
 - ・タブレット端末を活用し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を推し進め、授業改善につなげるとともに、業務の削減や効率化を推し進める。
 - ・学校閉庁日、プレミアムデー、事務共同実施の推進、地域学校共働本部の活用をはじめ多忙化解消を意識し、心身ともに健康な状態で教育活動に取り組む。